

12月31日：VN指数は年内最終取引日に1,100ポイントを超える

新型コロナウイルスによって株式市場は大荒れの年だったにもかかわらず、ベトナム市場では顕著な上昇が見られ、主要指標のVN指数は20年最終取引日に1,100ポイントを超え、昨年末から14.86%上昇した。

ホーチミン市場は、主要指標のVN指数が0.58%（6.33ポイント）高の終値1,103.87ポイントで引けた。上昇銘柄数は290と下落銘柄数160を大きく上回った。

売買高は前日比22%減の5億2,780万株、売買代金は前日比20%減の10兆8,000億ドン以上だった。

多くの優良株に買いが入り、VN指数を押し上げた。マッサングループ（MSN）6.5%高の88,900ドン、テクコムバンク（TCB）4.9%高の31,350ドン、SSI証券（SSI）+4.8%高の33,000ドンと上げが目立った。

他の主力株では、VPバンク（VPB）が2.2%高の32,500ドン、FPT（FPT）が1.72%高の59,100ドンだった。

加えて、ホアファットグループ（HPG）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、ベトナム投資開発銀行（BID）、ペトロベトナムパワー（POW）、カンディエン不動産（KDH）は1%を超える小幅高。

半面、エクシムバンク（EIB）が3%下落し19,500ドン、ビンホームズ（VHM）とペトロリメックス（PLX）は1%弱下げた。

中小型株では、FITグループ（FIT）、カマウ水産（CMX）、ドリームハウス投資（DRH）、ナムベト水産（ANV）、エバーランド投資（EVG）、ヴィエティンバンク証券（CTS）といった銘柄に資金が集中し、ストップ高となった。

他には、タンタオ投資工業（ITA）、FLCグループ（FLC）、ペトロベトナム・ドリリング（PVD）、ホアセン・グループ（HSG）、FLCファロス建設（ROS）、キンバックシティグループ（KBC）、ホアクアン不動産商業コンサルティング（HQC）、ホアビン建設グループ（HBC）、リエンベトポストバンク（LPB）、サコムリアル不動産（SCR）といった銘柄に買いが入った。

ハノイ市場は、HNX 指数が 3.14% (6.17 ポイント) 高と終値 203.12 ポイントで引け、上昇銘柄数は 92 と下落銘柄数 54 を上回った。売買代金で 1 兆 1,600 億ドン、およそ 1 億株が取引された。

大型株では、クオックザン銀行 (NVB) が 10,000 ドン、バオベト証券 (BVS) が 18,300 ドンと共にストップ高となった。

その他、最も上昇したのは、8.23%高の 25,000 ドンだったサイゴンハノイ証券 (SHS)、9.5%高の 115,000 ドンだったタイホールディングス (THD)。

不動産株のタスコ(HUT)が 6.7%安の 4,200 ドンだったにもかかわらず、売買高で 1,293 万株が取引された。石油株のペトロベトナム・テクニカル・サービスは、1,130 万株以上が取引され、売買高が 2 番目に多かった。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。